

# 第 31 回 BC 州日本語弁論大会

2019 年 3 月 2 日(土)

優秀作品集

BC 州日本語弁論大会実行委員会

この作品集は、参加者原稿を元に BC 州日本語弁論大会実行委員が編集したものである。

## 第 31 回 BC 州日本語弁論大会

日時： 2019 年 3 月 2 日 土曜日 午前 10 時～17 時

場所： ブリティッシュコロンビア大学

実行委員会： Rebecca Chau (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

Ihwa Kim (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

Saori Hoshi (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

司会者： Ri A Yu, UBC & Jacob Teichrib, UBC

審査員：

高校部門 Ms. Tomoko Bailey (JALTA)

Ms. Satoko Hashigasako (Eric Hamber Secondary School)

Ms. Grace Ho (R.A. McMath Secondary School)

Ms. Misuzu Kazama (UBC)

Mr. Akio Taniguchi (Kiyukai)

大学・一般部門 Mr. Choji Hayashi (Langara College)

Mr. Kazuhiro Kadono (Listel Hospitality Group)

Prof. Ryuko Kubota (UBC)

Mr. Tsuyoshi Matsuda (Konwakai)

Ms. Kazuko Mito (Capilano University)

Ms. Michiko Suzuki (UBC)

出場者:

「高校部門 初級」

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| 1 Sherry Kung            | Richmond Secondary School                  |
| テクノロジーは人々の創造性を<br>低下させます | <i>Technology Decreases Our Creativity</i> |
| 2 Tina Lai               | Hugh Boyd Secondary School                 |
| スピーチと人生                  | <i>Speeches and Life</i>                   |
| 3 Luke Ni                | Richmond Secondary School                  |
| 先延ばしの癖                   | <i>Procrastination</i>                     |
| 4 Rachel Tan             | Steveston-London Secondary School          |
| ちょうどいい自分                 | <i>The “Just Right” of Me</i>              |
| 5 Natalie Tong           | Brookes Westshore                          |
| 夢                        | <i>Dream</i>                               |
| 6 Alex Wang              | Richmond Secondary School                  |
| 精神的な成熟と幼稚                | <i>Maturity and Childishness</i>           |
| 7 Mary Yuan              | Brookes Westshore                          |
| 好きなアニメーション               | <i>My Favorite Animation</i>               |
| 8 Megan Yung             | Hugh Boyd Secondary School                 |
| 私のベビーフェース                | <i>My Baby Face</i>                        |

## 「高校部門 中級」

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 1 Wei Qi (Vicky) Chen  | Burnaby North Secondary School   |
| 無償の愛とは                 | <i>Unconditional Love</i>  |
| 2 Joshua David         | Maple Ridge Secondary School   |
| 言語の壁を越える               | <i>Crossing the Wall of Languages</i>  |
| 3 Susan Kung           | Richmond Secondary School  |
| ジャンクフードはそれほど<br>悪くない   | <i>Junk Food Isn't That Bad</i>  |
| 4 Sneha Kurian         | Hugh Boyd Secondary School   |
| 優等生                    | <i>Honour Students</i>   |
| 5 Rachel Wen           | Richmond Secondary School  |
| リサイクルの重要性              | <i>The Importance of Recycling</i>   |
| 6 Haowen (Vicky) Yan   | Elgin Park Secondary School  |
| マリファナ合法化-カナダの<br>高校生は今 | <i>Marijuana Legalization - Effects on<br/>Canadian High School Students</i> |

## 「高校部門 オープン」

- |                     |                                 |
|---------------------|---------------------------------|
| 1 Matthew Armstrong | Byrne Creek Community School    |
| 分岐点                 | <i>Crossroad</i>                |
| 2 Sola Dupain       | École Victor-Brodeur            |
| 「美、礼、時」私の冒険         | <i>"Bi Rei Ji" My Adventure</i> |

3 Emma Nakatani	Richmond Secondary School
汚れた大人	<i>Impure Adults</i>
4 Sasha Soda	N/A
初めての仕事	<i>First Time Working</i>

「大学・一般部門 初級」

1 Leo Cao	Capilano University
日本語がくれた自信	<i>The Confidence Japanese Gave Me</i>
2 Yiyang Gu	UBC
私とちびまるこちゃんの物語	<i>The Story of Me and Chibi Maruko Chan</i>
3 Jessica (Hui Ngai) Lam	UBC
プレゼント	<i>Present</i>
4 Jiaran Liu	UBC
2018 のプレゼント	<i>A Gift from 2018</i>
5 Bonny Miseljic	Langara College
物語を経験に	<i>Stories into Experience</i>
6 Tommy Nguyen	UBC
太っていました	<i>I Used to Be Fat</i>
7 Chris Wu	UBC
チケットを三枚	<i>Three Tickets</i>
8 Alex Xia	UBC
美しいゲーム	<i>The Beautiful Game</i>

9 Lian Yi UBC  
寂しくない一人 *One Person Is Not Alone*

「大学・一般部門 中級」

1 Keegan Burton UNBC  
ネットゲと友情 *Net Games and Friendship*

2 Nicholas Chu Langara College  
過程にある自由の意義 *The Meaning of Freedom Is in the Process  
of Pursuing Freedom*

3 Miradee Chua UBC  
パラダイスの道を歩こう *Let's Walk the Path to Paradise*

4 Peifen Hsieh UBC  
レイン *Rain*

5 Jiahao Niu UBC  
心を輝かせよう *Lighting Up the Heart*

6 Kyoungmin (Kelub) Roh UBC  
忘れられているものについて *The Things We Have Been Missing*

7 Richard Wu UBC  
母の絶対的な支配の中で *My Mother's Absolute Rule*

8 Yidan Zheng UBC  
ゴルウィッツアー作戦 *How to Achieve Your Goal*

## 「大学・一般部門 上級」

1 Elliott Cheung	UBC
半透明人間	<i>Half-Transparent People</i>
2 Cindy Hah	UBC
嘘の必要性	<i>Necessity of “Lies”</i>
3 Tiffany Nguyen	UBC
ユーチューブの影響力	<i>The Influence of YouTube</i>
4 Jana Salameh	UBC
現代日本社会における新しい 男性像	<i>New Subcultures of Masculinity in Modern Japanese Society</i>
5 Shengquan (Noah) Yin	UBC
地球寒冷化	<i>Global Cooling</i>
6 Erin Wu	UBC
空・色	<i>Nothing and Something</i>

## 入賞者

### 「高校部門」

初級 第1位	Rachel Tan	ちょうどいい自分
第2位	Megan Yung	私のベビーフェイス
第3位	Tina Lai	スピーチと人生

中級	第1位	Haowen (Vicky) Yan	マリファナ合法化ー カナダの高校生は今
	第2位	Wei Qi (Vicky) Chen	無償の愛とは
	第3位	Joshua David	言語の壁を越える

オープン	第1位	Sola Dupain	「美、礼、時」私の冒険
	第2位	Matthew Armstrong	分岐点
	第3位	Sasha Soda	初めての仕事

### 「大学・一般部門」

初級	第1位	Lian Yi	寂しくない一人
	第2位	Yiyang Gu	私とちびまるこちゃんの物語
	第3位	Alex Xia	美しいゲーム
中級	第1位	Peifen Hsieh	レイン
	第2位	Nicholas Chu	過程にある自由の意義
	第3位	Richard Wu	母の絶対的な支配の中で
上級	第1位	Erin Wu	空・色
	第2位	Shengquan (Noah) Yin	地球寒冷化
	第3位	Cindy Hah	嘘の必要性
特別賞	Sherry Kung		テクノロジーは人々の創造性を低下させます
特別賞	Jiahao Niu		心を輝かせよう



## 第31回 高校部門 初級 第1位

Rachel Tan

### ちょうどいい自分

皆さん、こんにちは。私(わたし)はレイチェル・タンと申します。今日は「ちょうどいい自分」ということについて話そうと思います。皆さんは他の人が自分のことをどう思っているか心配な時がありますか。私は子供の頃から人にどう思われているかすごく気にしていました。他人に自分を好きになってほしくて、私は何かをする前にいつも他人の反応をまず先に考えていました。大人や同級生と外に出る時、私は話すことも敢えてしないで、ただそこで笑っていました。静かで行儀が良い人の方がきっと好(す)かれると思っていたからです。もしこれしたら、みんなが私を好きになってくれるかなあ?とか、、、あの時の私は毎日そんなことばかり考えて、人形みたいに生きていました。しかし、それでもまだ私に不満な気持ちを持つ人がいました。そういう人たちはいつも、「もっとがんばれるなれるのに。」なんて私に期待するんです。「それなら、私はあなたたちが好きな人になりましょう。」私はそう考えて、努力して努力して、、、結局、本物の自分を見つけることができませんでした。

でもある日、親友の言った冗談で笑ったとき、私はとても元気になりました。そしてその時、私の笑顔を見て彼女はこう言いました。「あなたはあなたのままでいいよ。」その時、私は目が醒めたんです。そう、この世界ではみんなが異なる好み(このみ)や基準を持っています。たとえば、さわやかな風が好きな人もいますが、髪(の毛)がみだれるから嫌いだと言う人もいます。でも、私たちはすべての人間に愛される為に生まれたわけではありません。たとえ全世界が私を嫌いだとしても、だれか一人が私を必要としてくれたら、私は生きることが出来ます。だから私は、今はただ、今日の私が昨日よりも優しくなることができればそれでいいと思います。以上です。(ご静聴)どうもありがとうございました。

## 第31回 高校部門 初級 第2位

Megan Yung

### 私のベビーフェース

皆さんこんにちは。私の名前はメガンです。ヒューボイドという高校の生徒です。高校一年生で、先月十六歳になったばかりです。十六歳だと思わない人がいるかもしれません。私も時々自分が十六歳にみえると思いません。なぜなら私の顔はわかみえるからです。英語でいうと「ベビーフェース」です。まるでやさしくみえる顔のことです。皆さんはそれがいいことだと思うかもしれません。でも、レストランにいったらまだキッズメニューをもらうことが時々あります。本当にいやになりますよ。

ここ数年、私は時々人に「かわいい」と形容されることがあります。悪くない気持ちですが、「かわいい」だけでは重視されません。例えば、わたしは十歳の時からテコンドーをしていて、もう初段なのによく「顔がやさしすぎる」や「もっとこわい顔をみせろ」などといわれます。もう一つの例をあげます。去年、全然知らない小学生に電話番号をきかれたこともありました。私より背が高いからといって、私より年上だというわけじゃないですよ。

カナダに色々な人が住んでいます。その人は色々な文化から来ました。それが私がわかみえると思われる理由かもしれません。でも、私はそれが本当の理由なのかとうたがいはじめました。私は二、三年前から日本語と日本の文化をべんきょうし始めましたから、日本ではベビーフェースがうけがいいとききました。でも、留学で日本にいったら小学生にまちがえられることはもうなかったけど、私はまたべつの困難にあいました。私の苗字はヤングで、英語でいうと「わかい」のことばににっています。書道のクラスメイトは皆それをして、私は「メガン・わかい」を何度も何度もかかされました。私は日本にいてもにげられません！

でも、わかみえるのはけっして悪いことじゃないです。子どもにみえるから悪いことをしてもおこられることがあまりないです。今、私は子どもセクションのやすいふくを買ってもま

だへんな人だと思われません。いつかその日がくるかもしれません。でも、その日が来るまで、私はお子様スペシャルを利用しつづけるつもりです。

ご清聴ありがとうございます。

スピーチと人生

こんにちは。私の名前はティナです。十五歳で、ヒューボイド 高校の生徒です。数ヶ月前、日本語の先生は私に日本語スピーチコンテストについてこえをかけました。私は日本語を練習したかったし、友だちもきょうみがありましたから、私はやってみることにしました。スピーチのトピックを考えてみましたがとてもむずかしかったです。何を話せばいいかわかりませんでした。スピーチはおもったよりたいへんです。

スピーチをするには色々なじゅんびが必要です。まずはトピックをきめることです。トピックはスピーチに方向性をあたえますから、トピックはスピーチの一番だいじなところですよ。つぎは 例です。例はトピックを説明します。例がなくてもスピーチができますが、とてもわかりづらくなります。最後はスピーチに必要なスキルです。例とトピックを説明できるスキルがなければなりません。スピーチはむずかしいですね。

でもよく考えたら、スピーチをすることが人生ににているとおもいはじめました。例えば、私の人生の目標はペストリーシェフになることです。もし人生がスピーチだったら、そのゆめは人生のトピックみたいですよ。みんなにトピックについて話すことはこの目標をたっして、友だちにクッキーやケーキをわかちあうことになにしています。トピックにたどりつくために、例が必要です。人生の例は経験で、その経験は自分のゆめへのかけはしです。そして、反対的な例と肯定的な例があると同じように、人生にはいい経験と悪い経験があつて、どちらからでもまなぶことができます。最後に、スピーチを発表するスキルと人生の色々なスキルはにているとおもいます。どちらももっと効率的に目標にたどりつくためにあります。

スピーチは最初かんたんにみえますが、おもうよりむずかしいですよ。でも、スピーチがおわたたらとても満足な気持ちになります。私たちの人生も同じようなことではないでしょうか。いま、わたしはスピーチがすこしだけ好きになりました。ご静聴ありがとうございました。

## 第 31 回 高校部門 中級 第 1 位

Haowen (Vicky) Yan

### マリファナ合法化 — カナダの高校生は今

カナダは、2018年10月17日にマリファナが合法になりました。街のあちこちでマリファナのおいがします。私の高校でも、ほとんどの生徒がマリファナを吸っています。あれから5ヶ月が経ちました。皆さんの周りで、何か変化がありましたか？

カナダにいても、中国人の親はマリファナを絶対に許しません。なぜなら、中国は、昔、アヘンで、国も人の精神もボロボロにされた経験があるからです。去年、とても悲しい事件がありました。Roger という中国からの留学生がドラッグ中毒になりました。激怒した親が Roger をすぐに中国に連れて帰ろうとしたとき、彼は空港で最後にたくさんの合成マリファナを吸いました。その結果、飛行機の中で意識を失い、亡くなってしまったのです。アヘンとマリファナは違います。Roger の親がもう少し時間をかけて Roger をマリファナ中毒から救ってくれたら、彼は死ななくても済んだかもしれません。

実は私の親友もドラッグ中毒になっています。どんどん変わっていく親友を見るのはとても辛いです。彼女を見ていると、マリファナの合法化がいいとか悪いとかの前に、どうして彼女がそうなったか、その理由を考える方が大切だと感じます。

白人カナダ人の家庭では、親もマリファナを吸っている場合があるので、マリファナが身近にあります。吸いたい時に吸えるのであまりストレスになりません。でも、中国人の家庭では、吸いたくても吸えない、もし吸ったら親に怒られる、というストレスがあります。

私は、そんな親に言いたいです。もし子供がマリファナを吸っているとわかったら、怒る前に、子供の気持ちを、時間をかけて聞いてあげてほしいです。厳しく育てるのが愛情だと考えることもわかりますが、高校生にはピアプレッシャーもあるので、カナダの文化の中で大変なのです。そして高校生にはこう言いたいです。問題があつたら、逃げないで助け

を求めてほしいです。親は、最後は、私たちのことをわかってくれるはずです。

将来、カナダの中国人が二つの文化に挟まれて、悩み、命を落とすことのないように、高校生の私たちに今できることがあると思います。私のこのスピーチを聞いて、マリファナについて、もっと真剣に考えてくれる親や学生が増えることが私の願いです。

ご清聴ありがとうございました。

## 第 31 回 高校部門 中級 第 2 位

Wei Qi (Vicky) Chen

### 無償の愛とは

子どものころから、まわりの大人がおしえてくれた、人は感謝のきもちをもち、善良でなければならぬと。また、たすけあい、ささえあうこともたいせつだと。だから、むかしから、私は人をたすけるのがしゅうかんになっていた。大小にかかわらず、すこしでも人のやくにたてば、それで、私はまんぞくなのです。

家族がびょうきになるたびに、私は精一杯せわをします。私の姉がびょうきのときは、体温をはかり、あっさりした料理をつくって、たべさせます。かのじょが寝ているあいだ、布団をかけなおしてあげたりもしました。

姉がだんだんげんきになってくるのをみると、私は満足感とよろこびでいっぱいになります。ただ、ただびょう人がかいふくするのをみたいのです。

私が看護師になりたいといった時に、看護師はたいへんなしごとだとおおくの人が言いました。疲れるだけでなく、いろいろなしんこくな状況に直面しなければならないし、医者よりたかくないかんがえる人もいます。でも私はそうは思いません。

母が帝王切開で入いんしたことがあります。手術後の母はとてもつらそうで、動くこともできないし、食べることもできませんでした。看護師はすうじかんごとに母の様態を見るようになりました。その時に私はあまり医学的な単語をしりませんでした。しかし、看護師は手術後の状況についてこんきよくせつめいしてくれました。母が英語ができないことをしてから、写真やジェスチャーでたすけてくれました。看護師さんたちの献身と配慮は母の気持ちまでもいやしてくれました。

医者とはちがって、看護師はもっと患者にみちかで、こまやかにせわをし、患者の心の治療をするしごとだと思いました。

この件がきっかけで、ますます私の看護師への夢がふくらみました。

世界には人々にたいして無償にほうしするしごとの人がたくさんいて、かれらの精神はすべて私たちが敬服するにあたいします。

この無償の愛の精神で、私も看護師として将来働きたいと思っています。



## 第 31 回 高校部門 中級 第 3 位

Joshua David

### 言語の壁を越える

新(あた)らしい言語(げんご)を学ぶことは難(むずか)しく、大変(たいへん)なことだと思(おも)われがちです。言語(げんご)を学(まな)ぶことは、時間(じかん)がかかるし、自分(自分)にはできな(か)いと感(かん)じてしまい、実際(じっさい)に学(まな)ぶことをためら(ため)う人も少(すく)くありません。しかし、一(ひと)度(ど)学(まな)ぶことに成(せい)功(こう)して話(わ)せるようになったら、自分(自分)の世界(せかい)が広(ひろ)がり、学(まな)び続(つづ)ける意(い)欲(よく)につな(つ)がります。私は、これま(これま)での 16 年(ねん)間で7(なな)つの言語(げんご)(ドイツ語(ドイツ語)、タミル語(タミル語)、英語(英語)、スペイン語(スペイン語)、フランス語(フランス語)、イタリア語(イタリア語)、そして日本語(日本語))を学(まな)んできました。色々(いろいろな)な人(ひと)と話(わ)せるようになったこと(こと)で、私(わたし)の視(し)野(や)は広(ひろ)がりました。

今日(こんにち)は、私(わたし)が言語(げんご)を学(まな)んできた経(けい)験(けん)と多(おほ)くの言語(げんご)を習(しゅう)得(とく)するメ(め)リッ(ット)につい(つ)てお話(わ)し(は)な(な)し(し)たいと思(おも)います。

言語(げんご)を学(まな)ぶこと(こと)で得(え)られるもの(もの)は大(おほ)きく分(わ)けて2(ふた)つあると思(おも)います。一(ひと)つ目(め)に、ど(ど)の言語(げんご)におい(お)ても聞(き)く能(の)力(りょく)や書(か)く能(の)力(りょく)、情(じょう)報(ほう)を処(しゅ)理(り)する能(の)力(りょく)が伸(の)びるため(ため)、何(なに)か新(あた)らしいこと(こと)を学(まな)ぶ時(とき)に速(はや)く習(しゅう)得(とく)でき(き)るよう(よう)にな(な)ります。初(はじ)めて新(あた)らしい言語(げんご)を学(まな)ぶのは一(いち)番(ばん)苦(く)勞(らう)すると思(おも)います。しかし、それ(それ)を乗(の)り越(こ)え(え)れば、その後(ご)は徐(じょ)々(じょ)に慣(な)れてい(い)き、学(まな)び易(やす)くな(な)ってい(い)きます。二(ふた)つ目(め)に、色々(いろいろな)な人(ひと)と話(わ)せるよう(よう)になるため(ため)、どこ(どこ)へ行(い)っても、歡(か)迎(よう)

んげい)され、たくさん

友達ができます。さらに、言語は人と人をつなぐだけでなく、文化(ぶんか)の架(か)け橋(はし)にもなるのです。僕はカナダに留学していろいろな国からの友達と知(し)り合(あ)うことでインターネットでも得(え)ることのできないような興味深(きょうみぶか)い文化(ぶんか)について知(し)ることができました。

去年(きょねん)の夏(なつ)、私(わたし)は一人(ひとり)で日本(にほん)へ旅行(りょこう)に行(い)きました。始(はじめ)は緊張(きんちょう)して、自分(じぶん)が知(し)っている単語(たんご)すら話(はな)せなかったけれど、カナダで出会(であ)った日本人(にほんじん)の友達(ともだち)と再会(さいかい)し、彼(かれ)らが僕(ぼく)の日本語(にほんご)を「上手(じょうず)になったね」と言(い)ってくれたので自信(じしん)につなげることができました。それからは、積極的(せっきよくてき)に日本語(にほんご)で話(はな)すようになり、1週間(しゅうかん)という短(みじか)い間(あいだ)で大(おお)きくステップアップをしたと感(かん)じました。

この経験(けいけん)より、言語(げんご)とはただ教科書(きょうかしょ)の文章(ぶんしょう)を練習(れんしゅう)するだけでなく、実際(じっさい)にコミュニケーションの道具(どうぐ)として使(つか)うことで生(い)かされ、自分(じぶん)のものにできるのだとわかりました。

これからはそれぞれの言語の知識(ちしき)を深(ふか)めるのはもちろんのこと、それらを使った活動(かつどう)なども行(おこな)っていきたいと思います。あ、新しい言語も増(ふ)やしていきますよ！

本日(ほんじつ)はどうもありがとうございました。

## 第31回 高校部門 オーペン 第1位

Sola Dupain

### 「美、礼、時」私の冒険

2018年の夏、私は母と一緒に日本に行きました。いつもの夏休みと違って、日本での体験入学です。それは新しい環境で、知らない人たちに囲まれて、そして何よりも、7月なのに学校に行かなければならない、ということです。絶対いやだ！！初日の夜、私は泣きながら母に、お願い学校に行かせないでと頼みました。しかし、最後の日の夜私は泣きながら、もっと長く学校にいかせてと頼みました。私は4週間にわたって素晴らしい経験をしたのです。これから私の行った学校の校訓である「美、礼、時」についてお話ししたいと思います。

私が日本の学校制度で最も素晴らしいと思ったのは、「美、礼、時」という校訓を皆が共有していることでした。最初の単語“美”の意味は主に学校を清潔にすることです。毎日午後、生徒は学校を掃除しなければなりません。私たちはいくつかの小さなグループに分かれ、各グループはお手洗いを含めて掃除をしました。私の仕事は本館の2階の階段を掃除することでした。私達が使用する環境に責任を持ち、自分が出したゴミは自分で綺麗にするというのは素晴らしいと思います。

2番目の単語「礼」は尊敬を意味します。日本では教師が教室に入るたびに、すべての学生が立ち上がり、それぞれのクラスの始めと終わりにお辞儀をして敬意を示します。カナダの学校では、私たちは周りの先生や生徒たちに挨拶はしますが敬意を形に表しません。私が最初に母と職員室に挨拶に行った時、職員室にいた先生方が全員起立をして迎えてくださいました。突然皆さんに注目されて、びっくりしました。でも みんなが私のことを知っていて、迎えてくださったことがとても嬉しかったです。日本では皆が敬意を表すので、日本の学校にいる時は、とても気持ちが引き締まりました。

最後に、3番目の単語「時」は時間厳守のためのものです。カナダの学校に比べ、日本の時間厳守の考えはより厳しく強く期待されています。一度でも授業に遅刻しても、罰がありました。時間を守るのは日本の社会全体に反映されています。日本のニュースで知りましたが、地下鉄の到着が10秒遅れ、会社が謝罪したそうです。学校はその基本を学ぶ場所、と思います。

結論として、学校制度に関しては常に賛否両論があります。それぞれの学校システムのさまざまなアイデアや価値観を取り入れることで、カナダも日本の学校もより豊かになれると私は強く信じています。私の学校体験は新鮮な冒険でした。私は日本で経験した多くの考えに感心し、それらを私の日常生活にも取り入れたいと思っています。

## 第31回 高校部門 オーペン 第2位

Matthew Armstrong

### 分岐点

僕は今、高校最後の学年になり、色々と進路について考えるようになりました。それと同時に、これまでに起こった僕にとっての分岐点についても思い出すようになりました。

あれは十年前、僕が小学二年生の時でした。あの頃の僕は周りとなじめず、昼休みに同級生たちが笑って校庭で遊んでいる中、僕は一人でベンチに座っていました。当時の僕は人と話すのが苦手だったのです。

ある日の昼休み、僕の向かいのベンチに、一年年上の転校生が座っていました。彼は僕とは違い、壁がなく、普段一人で過ごしていた僕にでも気さくに話しかけてくれました。徐々に僕たちは仲良くなりました。彼のおかげで僕は人と話せるようになり、一人から抜け出すことが出来たのです。

しかし、僕の問題はそこでは終わりませんでした。あの頃の僕にとって、授業を受けるために教室にいることが理由はわかりませんでした。居心地が悪く、うるさくて、苦痛でしかありませんでした。そのせいか、不快な気分には耐えられず、僕は耳をふさいで机の下に隠れたり、ただただ泣いたりして先生を困らせていました。そして僕自身も何故そうなるのか分からないことで悩み、自分のことが嫌になり、学校に行くのが怖くなっていました。しかし、先生と両親は僕のことを諦めないでいてくれました。様々なテストをしたり、カウンセラーと何度も話した結果、僕が「ギフテッド」であることが判明しました。ギフテッドと言うと「天才児」のような良い意味だけに受け取られがちですが、実際は様々なケースがあり、僕の場合は実年齢より学力はあるけども、音や光、肌に触れる洋服の素材など、様々な感覚が異常なほど敏感であるがために生活がしづらいことがわかりました。

僕がギフテッドだとわかった後、僕はチャレンジプログラムという僕に似たような子供達が

集まる特別クラスに通うようになりました。そこで僕はある先生と出会いました。その先生は僕のことを瞬時に理解してくださり、僕が学びやすいようにと様々な工夫をしてくださいました。その先生を通し、他の先生方も僕の個性を理解した授業をしてくださるようになり、今までは難しかった学ぶ楽しさや達成感を与えて頂きました。そして、あの校庭で出会った一年年上の転校生はいつの間にか僕の親友となり、彼と共に友人が増えていきました。問題だった敏感な感覚を制御する術も徐々に学び、完璧ではないものの学校生活を楽しく過ごせるようになり、ここまで来ることができました。そして今、僕は大学に進む為に毎日高校で勉強に励んでいます。

あれから十年、今でもあのベンチに一人で座っていた小学二年生の自分のことをはっきり覚えています。これは決して悪い思い出としてではなく、むしろ良いものとしてです。何故なら、今まで僕を支えてくれた多くの人達のことを思い出される僕の人生を変えたきっかけであり、分岐点だからです。あれがあったから今がある。そう思える思い出です。これから先にもまた僕にとっての分岐点がある事と思います。もしかしたら僕が、そしてここにいる皆さんが、誰かの分岐点になるきっかけを作るかもしれない。それがどんなものであっても良い方向に導くものであって欲しいな、と思います。

## 第31回 高校部門 オーペン 第3位

Sasha Soda

### 初めての仕事

皆さんこんにちは。私の名前は、宗田明子です。今から“初めて自分でえた仕事”について話します。仕事さがしをしようとしたきっかけは、尊敬している先輩の言葉でした。

「ホッケーの練習の後遊べない。仕事があるのゴメンね。」

それを聞いた時、いつも一緒にプレイしているチームメートの先輩がとても大人に見えました。その当時私は、仕事に興味があるものの実際にどうやって仕事を見つけたらよいか、どんな仕事をしたいのかがわかりませんでした。

先輩にすっかり感化された私は早速履歴書を書きました。そして、リッチモンド中のあらゆる店に配り回りました。しかし、その結果は、「また連絡します。」のオンパレードで、採用の連絡は、ゼロ！

どうしても諦められない私は、ビジネスコンサルタントをしている近所の人に自分の履歴書を添削してもらい、面接の練習をしてもらいました

さあ、また一からやり直しです。今度はアドバイス通り人の伝手を使って友達が働いているお店を紹介してもらい効率よく履歴書を配りました。しかし、大抵のお店は既に夏休みのアルバイトの学生を雇っていました。

ここまで頑張ったのに、仕事先を見つからないと、あきらめかけました。そして、あきらめる前に、最後の一軒と決め履歴書をだしました。ここは、ホッケーチームメートが勤めている場所で、マネージャーさんに前もって話をつけてもらっていました。しかし、こんなにも、前準備をしたにもかかわらず、またしても不採用でした。私は完全に打ちのめされ、いらなくなった履歴書を処分するつもりで、となりのレストランへ提出しました。

提出した私の履歴書は誰にも見られることなく、机の上にほっぼらかされていました。どうせ今回もダメだろうと思い、自転車でしょんぼりと帰宅しました。家に帰ると、ホッケーの他チームのメンバーからテキストが来ていました。

「ねえ、サーシャもしかしてレストランに履歴書をだしたの？」私はなんで、こんな情報を知っていたのと聞きました。

「だって、ここで仕事をしているからだよ！また明日マネージャーに会いに来たほうがいいよ！」

と、テキストが返ってきました。何と、ホッケーの友達がはたらいていました。次の日、友達の助言通りマネージャーに会いに来ました。そして、その場で採用となりました。店の外では出さなかったけれど、家へ着いたとたん、ホッケーのゴールをきめたときのように、ガッツポーズをしました。

一週間後、さっそく仕事が始まりました。みんなよい人で仕事は充実しています。何と言っても、自分でお金を稼ぐと言うのは、気分が良いものです。先週は祖父母と母を連れて、お昼をご馳走しました。

夏休みの仕事探しを通じて、人とのつながりの大切さを痛感しました。もし、ホッケーをしていなかったら恐らく仕事を得ることは出来なかったでしょう。学校、スポーツ、ボランティア、その他色々な活動に積極的に参加して、知り合いを増やすことがこれからの人生の成功のカギだとおもいます。ご清聴ありがとうございます。



## 第31回 大学部門 初級 第1位

Lian Yi

### 寂しくない一人

私は学生だから、毎日クラスと宿題があるし、時々テストもあるし、忙しいです。先生がたもお仕事やご家族の事でお忙しいですよ。今の社会ではみんなはいつも忙しくて、マルチタスクしています。そして、ストレスをかいしょうするために、人々は色々リラックスできる事をします。友達とご飯を食べて、おたがいに悩みをはなすと休めるみたいです。一人でドラマやビデオを見たり、ゲームをしたり、運動したりするかもしれません。でも、一人は寂しいですね。

私は疲れている時は瞑想します。自分の部屋で一人で、目を閉じて、三十分ぐらいします。もちろんスマホをきってるから、なににもじゃまされません。一番大切なことは明日のパーティーも来週のテスト何もかんがえないことです。でも私たちの脳はいつも何かかんがえなければいけないから、これは難しいです。でも私は一つ方法があります。瞑想している時、はんたいに、次に考えたいことをさがしてみます。かいてんすしのように、めの前をとおる寿司を見るみたいです。そのおすしを食べないでください。あ、これはもうかんがえた。次は…あ、あれを考えよう、それから次に…

私たちのあたまはほとんど止まることができません。ちしきや仕事を覚えなければいけないし、他の人の気持ちもかんがえなければいけません。歩いたりバスに乗る時でも音楽を聞いたり、スマホを見たりしています。しゅみをたのしんでいるときもあたまはいつも活動を続けています。あたまはもっとエキサイティングになるかもしれません。だから、たいいてい人々のリラックスのほうほうはからだのリラックスですが、あたまのリラックスではありません。とてもつかれた時、体は人に「今は寝る時間ですよ」と言います。これはじゅどうてきな休みです。いっぽうで一人の瞑想は完全なせっきよくてきなやすみです。

つまり、寂しい時は一番リラックスできるせっきよくてきなめずらしいです。さびしいときも、

無理にともだちといっしょにいらなくてもいいです。しばらく外の世界をわすれて、自分の中にもどれます。一人で何も考えないようにしてみると、体の中にエネルギーのながれをかんじます。自分の心の声がよく聞こえます。自分の知らないことや知りたいこともよく見えます。他の人が自分をどう考えているか心配しなくてもいいです。そして、もっとただしいせんたくができます。さあ、スマホを切って、瞑想してみましょ。寂しい時は実は寂しくないのです。完全なリラックスを楽しんでください。ごせいちょうありがとうございました。

## 第31回 大学部門 初級 第2位

Yiyang Gu

### 私とちびまる子ちゃんの物語

みなさん、ちびまる子ちゃんというアニメを知っていますか。私は今も、まる子ちゃんを見て、楽しんでます。彼女はかみが短くて、顔が丸くて、よく赤いスカートをはいている小学校三年生です。私も小さい時、髪が短くて、顔も丸くて、誕生日もまる子ちゃんとおなじだから、たくさんの人に私はまる子ちゃんみたいだと言われていました。でも、その時、私は恥ずかしがり屋でしたから、よく寂しくて、まる子ちゃんの毎日楽しそうな生活がしてみたかったです。

まる子ちゃんはあまり宿題をしないですから、成績は悪いです。でも、毎日テレビを見ながらお菓子を食べていて、全然悩みがないみたいです。いつもおじいさんとお菓子をわけたり、出かけたり、面白いテレビを見たりして、二人は友達みたいです。問題がある時、おじいさんにいつも手伝ってもらいます。一度、おじいさんは『誰もまる子ちゃんが好きじゃないけど、私は好きだよ』と言っていました。私はそれを聞いた時、自分のおじいさんを思い出して、感動しました。それから、時々、まる子ちゃんはお姉さんとけんかしますが、毎回あとで、お姉さんに「ごめん」と言います。夏休みは、いつも友達玉ちゃんの家に行って、一緒に遊びます。私はそんなじゅんすいなゆうじょうと悩みがない生活が羨ましかったです。

私は高校生になって、授業が忙しくなると全然アニメを見る時間がありませんでした。髪が長くなって、顔も丸くなくなったので、まる子ちゃんみたいだと思わなくなって、まる子ちゃんについてあまり考えなくなりました。でもある日、一枚の子供の時の写真を見つけて、『えっ！この女の子は私なの？』と母に聞きました。『そう、見て、あなたは本当にちびまる子ちゃんみたいね！可愛いなあ。』と母が言ったので、私はびっくりしました。ほとんどちびまる子ちゃんを忘れていましたが、その写真を見て、まる子ちゃんとの思い出を全部

思い出せました。

去年の夏、『ちびまる子ちゃん』の作家がなくなった時、私はすごく悲しくて、まる子ちゃんは作家の子供だから、まる子ちゃんも死んだと思いました。でも後で、父が、『死も人生の一部だよ。』と言ってくれました。私は泣いて、たくさん考えました。まる子ちゃんを覚えていたら、また楽しいメモリーを思い出せます。だから、作家は死んだけど、作品の楽しいメモリーと感動はいつも私の心の中にあると思いました。その思い出にありがとうと言いたいです。

みなさん、小さい時に見たアニメのキャラクターをまだ覚えていますか。覚えていたら、絶対忘れないてください。その子供の時のメモリーは私たちの人生を作るのを助けてくれる、一番大切な経験です。私はまる子ちゃんのようなポジティブな人になりたいです。みなさんのアニメのキャラクターはまだ心にいますか。

美しいゲーム

皆さん、こんにちは。今日は「美しいゲーム」についてお話したいと思います。

グーグルで「美しいゲーム」と検索した場合、サッカーに関する情報が多く出てきます。

私はサッカーというスポーツは芸術だと思っています。技術を向上させるために、時間や創造力、情熱が必要になるからです。歌手や画家も同じではないでしょうか？

そしてサッカーには多くの人々を結びつける力があると思います。

コートジボワールは約 4 年もの間、戦争をしていました。しかし、2006 年にワールドカップに出場した事がきっかけで国が一団となり、平和をもたらしました。

サッカーに必要なのはボールです。そして、不可欠なのは想像力です。

私は両親から室内でサッカーボールで遊ぶことを禁じられていた為、代わりにテニスボールとスリッパで弟とよく遊んでいました。私がサッカーを始めたのは 12 歳の時で、そこからはサッカーが中心の生活になりました。

私にとってサッカーとは他に類を見ない程の感動を与えてくれるものなのです。なぜならピッチで自由を感じられるからです。

ボールが足に触れた瞬間、アドレナリンが私の体を駆け巡ります。そして、ゴールを決めたその瞬間、ボールがネットに吸い込まれていく、その瞬間を味わう為に 90 分間走り続けます。想像してみてください。強い感情が一気に押し寄せて来ませんか。その感情を味わう度に、私はプロサッカー選手になりたいという気持ちが大きくなっていきました。

私は高校生の時にアメリカからカナダに移住してきました。そして、市のサッカーチームに入りましたが、多くの選手は 8 年以上のサッカー経験者に対して、私はたったの 4 年で

した。チームメイトからの信頼を得る為、人一倍努力をしました。簡単ではなかったですが、楽しい時間を過ごせました。

サッカーを始めたことで、私は素晴らしい人々と出会い、チームワークを学び、精神的にも肉体的にも成長し、そして、それらの経験がピッチの外でも生きています。サッカーを通してのみ得られる様々な素晴らしい感情があると思っています。

ゆえに私にとってサッカーは「美しいゲーム」なのです。

## 第 31 回 大学部門 中級 第 1 位

Peifen Hsieh

### レイン

皆さんは音楽が好きですか。普段はどんな歌を聞いていますか。歌を聞いて、無意識に微笑んだり、涙が溢れたりした事がありますか。私はよくあります。世界中には数えきれないほどの歌があります。元気な歌、悲しい歌、穏やかな歌、暗い歌など。歌はそれぞれに異なった個性を持っていて、聞く人に色々なメッセージを伝えることができます。その影響力で、人ひとりの人生観を変えることさえできるのです。だからこそ、私は意味を与えてくれる歌が好きです。例えば、希望を与えてくれる歌、人生の厳しさを教えてくれる歌、あるいは、自分が共感できる歌。二年

前、ある映画の主題歌は私に大切なことを思い出させてくれました。それが、「レイン」という曲です。

「レイン」、つまり、英語では「雨」の意味で、SEKAI NO OWARI という日本のバンドが2017年のアニメーション映画、「メアリと魔女の花」の為に書き下ろしたテーマ曲です。この曲では「悲しみを乗り越えて、喜びにたどり着く」ことをテーマにしています。終わってしまった喜びの代わりに込み上げてくる悲しみ。それを乗り越える為にするべき努力。そして、悲しみを乗り越えた先にあるもの。この曲を聞くと作詞家が伝えたいことがよく分かります。歌詞のサビにはこう書いてありました、「虹が架かる空には雨が降っていたんだ、虹はいずれ消えるけど雨は草木を育てていくんだ。」と。そして、曲の最後は「そうだ、次の雨の日の為に傘を探しに行こう。」という前向きなメッセージで終わります。私はこの歌詞を聞いて、とても共感することが出来ました。

中学の時、私は初めてアメリカの公立学校に通うことになり、その周りがいつも変化している未知なシステムであることに驚かされました。今は昔ほどではないですが、当時の私はとても内気な子でした。それに加え、言語の壁もあってか、人との会話に 恐怖すら抱

いていました。その頃の私は外出するのがいやでした。学校が終わるとすぐ家に戻り、休日はいつも家にこもってばかり、などと、人との付き合いをに諦めていました。毎日毎日、自分は全世界に嫌われていると思い込んで、ため息ばかりついていました。中学生だった私の心の中ではずっと「雨」が降っていました。私はその時期に日本のアニメと出会い、友情や青春に憧れるようになりました。私は「アニメ」という「傘」を見つける事が出来たから、小さな一歩を踏み出すことができました。失敗する可能性に怯えながら、私はその恐怖に立ち向かって、クラスメイトと会話をするようになりました。おかげで、私は何人か仲のいい友達ができ、かけがえのない親友にも巡り会える事ができました。その親友が今の私の「傘」の一部になってくれています。人に嫌われたことや落ち込む時も沢山ありました。しかし、それも全てを含めて、今日の私を作ってくれた大切な経験だと、きっと、今の自分だからこそ、そう思える事が出来ているのでしょう。まさに、「雨」は私を「草木」のように育ててくれました。

「忘れないよ、こんな雨の日に、空を見上げてきたこと。」私はこの歌詞を聞いて、昔、勇気を出して一歩を踏み出した自分の選択は正しかったと思いました。「雨」は辛いかもしれませんが、しかし、その「雨」が降るからこそ、止んだ後には「虹」が出ます。たとえ目に見えなくても、それはきっと、心の中に存在していると私は信じています。皆さんも次の雨が降る前に、ご自分の「傘」を探しに行きましょう。

ご静聴ありがとうございました。



過程にある自由の意義

皆さんにとって「自由」とはどんな概念を意味しますか。言論の自由ですか。信教の自由ですか。それとも恋愛の自由ですか。私が話したい事は、そこから考えてみた「自由」の意味についてです。

医療方面の仕事に就くのが私が幼い頃からの理想でした。というのは、決して「万物の命を救済したい」という偉大な使命感を抱いていたからでもなく、家族が病気で亡くなった等のドラマチックな動機があったからでもなく、この儲けられる職業を単純に利用して、「食って寝る生活」を送りたかっただけなのです。そして、そこには自分が求める自由が存在すると思ったのです。

高校生になった時、私は自由に関する論文や学術誌を目にする機会が増えて行きました。自由とは人類が追求している精神的な最終目標であって、色々な分野で議論されて来ました。その多くの理論の中で、私が最も興味を持ったのは「マズロー欲段階説」でした。彼の論文は自由の意味を明確にしていると思いました。自由とは人が適材適所で自分の持つ能力や可能性を最大限発揮する事を意味し、自分が求める自分を具体化出来る事を指します。私は物心ついた時から、怠惰な生活観念を持ち、手抜き作業を特に好んでいます。ですから、自分にとってこの生活スキルを活かされる「食って寝る生活」が適材適所の様に思われたのです。でも、人は犠牲を払う事なしに得られる物は何もないのです。私は「食って寝る生活」と引き換えに、医学を嫌々進む事になりました。

私は一年ほど前、香港からカナダへ来て、独りで生活を始める事になりました。望んでいた自由生活への第一歩を踏み出した事に大喜びしたのですが、自分の生活を管理する事と税金などの書類を処理する事で苦勞しました。最初はカナダへ来た事を後悔しましたが、そのお陰で、多くの初めての経験をし、慣れない事も何とか自分なりに乗り切って解

決する事が出来る様になりました。そのうち、そうした自分に誇りすら感じられる事に気がつきました。私は自由に費やす犠牲は自分を苦悩させる為に有るのではなく、そして、その犠牲を乗り越える過程にこそ、自由の真の意義が有るのだと気付きました。もし私が「食って寝る生活」をしたとしても、その後、自分を前進させる目標を失った事によって、生活が退屈になるのなら、それも自由なのでしょうか。

しかし、その答えを見付ける転機が一年ほど前にやって来ました。それは、母が心臓病を患っている事を知った時でした。この事を初めて知った時、私の心の中には何かモヤモヤした気持ちがありました。母の事が心配なだけでなく、同時に、目の前で生きようと足掻いている病気の人々に対して、医療の道を金稼ぎの道具にしようとしている自分に罪悪感を感じました。そして、今は「食って寝る生活」の為に犠牲ではなく、母の為に、そして将来母の様な患者の為に、自分の持つ可能性をこの道に託したいと純粋に思っています。身勝手な自分に別れを告げ、今はこの人助けの道に、医者として適材適所にいる事が出来ればそこに自分の自由が存在するはずで。

私達は自由とは簡単に手に入れる事が出来無い事を知って、自由の貴重さを思い知らされるものです。でも、そうして地道に努力をして、自分が求める自分に少しずつ近づいて行く事が何よりも嬉しい事だと思います。皆さんにとって、自由とはなんですか。考えてみる価値はあると思います。そして、それはきっと皆さんの人生に大きな意義をもたらすことでしょう。

## 第 31 回 大学部門 中級 第 3 位

Richard Wu

母(はは)の絶対的(ぜったいてき)な支配(しはい)の中(なか)で

私(わたし)はコンピューターを作(つく)ったり、直(なお)したりする事(こと)が好(す)きで、将来(しょうらい)そういう仕事(しごと)をしたいと思(おも)っています。そして私には JET(ジェット)プログラムに参加(さんか)して何年(なんねん)か日本(にほん)で働(はたら)きたいという夢(ゆめ)もあります。でも、両親、特に母が激(はげ)しく反対(はんたい)しています。母は「医者(いしゃ)か歯科医(しかい)になってほしい。それがお前(まえ)の幸(しあわ)せだ」とオウムのように言(い)っています。今(いま)の私は、母の「夢」に押(お)し潰(つぶ)されてしまいそうです。

去年(きょねん)の五月(ごがつ)、私は BCIT の「コンピューター技術(ぎじゅつ)サポート」というプログラムに申(もう)し込(こ)んで、受(う)け入(い)れられました。香港(ほんこん)にいた母(はは)に電話(でんわ)で報告(ほうこく)すると、とても怒(おこ)られました。母は「あなたは他(ほか)の人(ひと)が言(いう)ように「いいね」とか「頑張(がんば)って」という言葉(ことば)を私の口(くち)から聞(き)きたいでしょ。でも、それは破滅(はめつ)への道(みち)にあなたを送(おく)ること。人は何(なん)の責任(せきにん)もなく、あなたの聞(き)きたいことだけ言(いう)。私はあなたが聞(き)たくないことを言う。でもそれが絶対的(ぜったいてき)に正(ただ)しい！」と言うのです。つまり、母は私の人生(じんせい)に医者(いしゃ)になるというひとつの道(みち)だけ示(しめ)して盲目(もくもく)の服従(ふくじゅう)を望(のぞ)んでいます。その時(とき)、母がひどく怒(おこ)ったり、悲(かな)しいんだりするのをきいて、私はとてもがっかりしました。

私は結局(けっきょく)このプログラムを諦(あきら)めてしまいました。授業料(じゅぎょうりょう)が高(たか)すぎて、私の貯金(ちよきん)では足(た)りないし、同時(どうじ)に今度(こんど)は JET プログラムに興味(きょうみ)を持(も)ったからです。実(じつ)はすでに JET プログラムの面接(めんせつ)を受(う)けて、結果(けっか)を待(ま)っています。もし面接(めんせつ)に成功(せいこう)してプログラムを受(う)け入(い)れられたら、両親(りょうしん)がどんなに反対(はんたい)しても、私は日本(にほん)

ん)に行(い)きます。

私はいつも、母が怒った理由(りゆう)を考(かん)がえています。両親は今まで、兄(あに)と私にたくさん投資(とうし)をしてくれました。両親は教育(きょういく)のために、私たち兄弟(きょうだい)が子供(こども)の頃(ころ)、カナダに引(ひ)っ越(こ)して来(き)ました。大学生(だいがくせい)になって、私はコンピューターをあつかうことが趣味(しゅみ)になりました。友達(ともだち)は「コンピューターが得意(とくい)でいいなあ。将来(しょうらい)はコンピューター業界(ぎょうかい)だね。」と言(い)います。「そうなんだけど、いい仕事(しごと)とは言(い)えない。医者(いしゃ)になっただ方(ほう)が、幸(しあわ)せになれるかもしれない」。これは両親(りょうしん)の影響(えいきょう)で、私が回(まわり)の人(ひと)に言(い)っていたことですが、そのうち、私は「医者(いしゃ)になって、私は幸(しあわ)せになれるだろうか」と考(かん)え始(はじ)めました。それを母(はは)に伝(つた)えた時(とき)、母(はは)はきっぱり「幸(しあわ)せになる」と言(い)いました。母(はは)のメンタリティー、つまり、精神(せいしん)構造(こうぞう)は香港(ホンコン)の中(なか)だけで出来上(できあ)がりました。私はそれから、母(はは)と私(わたし)の考(かん)え方の違(ちが)いは何(なん)なのかずっと考(かん)えています。世代(せだい)の違(ちが)いだろうか、香港(ホンコン)とカナダの文化(ぶんか)の違(ちが)いだろうか…私は答(こた)えを探(さが)して、香港(ホンコン)の文化(ぶんか)についてセミナーに参加(さんか)しました。昔(むかし)から香港(ホンコン)には真(まこと)の民主主義(みんしゅしゅぎ)がなく、ビジネスは中国(ちゅうごく)に依存(いぞん)しています。そのせいか民間(みんかん)レベル(れべる)ではお金(かね)と社会的(しゃかいてき)な地位(ちい)が全(すべ)てです。つまり「医者(いしゃ)」なのです。私は母(はは)の考(かん)え方が理解(りかい)できないわけではありませぬ。母(はは)の考(かん)え方は間違(まちが)いとも言(い)い切(き)れない。でも、もし両親(りょうしん)の「夢(ゆめ)」に盲(もう)目的(もくてき)に従(したが)ったら、私は自分(じぶん)の人生(じんせい)を生(い)きられるでしょうか。母(はは)の「あやつり人形(にんぎょう)」になることが幸(しあわ)せでしょうか。

今(いま)、私は25歳(さい)です。私は母(はは)の息子(むすこ)なので、母(はは)の願(ねが)いを尊重(そんちょう)すべきですし、母(はは)をがっかりさせたくない。しかし、北米(ほくべい)で教育(きょういく)を受けた一人(ひとり)の人間(にんげん)としては、自分(じぶん)の人生(じんせい)は自分でコントロールすべきだと思います。「周(まわり)りが満足(まんぞく)しても、自分(じぶん)が満足(まんぞく)できなければ意味(いみ)がない」。この考(かん)え方がだ

んだん強(つよ)くなってきました。私だけではなく、多(おお)くの大学生がこのジレンマに遭遇(そうぐう)しているのではないかと思います。

私のしたいこと、私の夢は、私のものです。私は諦めません。母を泣(な)かせても、怒らせても、私は自分のしたいことをするつもりです。

それが私の…みなさんに、というよりも、私自身(じしん)に「がんばれ！」と伝えたいメッセージなのです。

空・色

花のない桜はただの大木に過ぎないけれど、翠色の葉っぱや薄紅の花が枯れてつるつるになった木を見て綺麗だと思ったことはあるだろうか？昔、祖父は冬日に、淋しそうに見えた小さな木に向けて、「美しいのう」と奇妙な一言を呟いたことがあった。彼は何故そう言ったのか、私には謎だった。何がきれいだったんだろう？

皆様は何かの目的の為に、夢中になりすぎて周りが見えなくなるような経験はないだろうか。(経験がある方……)少なくはないであろう。今日は、「空と色」について私なりの解釈を述べようと思う。

空とは、一切法は因縁によって生じたものだから本体・実体と称すべきものがなく空しいと言うことである。分かりやすく説明すると「無」であり、ないという状態を指す。色とは、一般に言う物質的存在のことを指す。では、「色即是空、空即是色」は果たして何を伝えようとしているだろう？

「色即是空」とは目に見える幻である。例えば、庭に咲く野菊を見つめてもその命を見ているわけではなく、形だけを見ているではないか。目に映す「成功人物」の華やかさは果たして本当なのか、それとも浮世にしか形を持たない虚像なのか。「豊かな物質生活は人を幸せに導いてくれるから金稼ぎに励みましょう。」と多くの人々は語るけれど、衣食無憂な生活を手にしたものの、それに伴う責任や犠牲、家族や自分の為に使える時間の減少、人は果たしてそれで幸せになれるだろうか。私たちが毎日血反吐が出るほど追い駆けている物の正体は案外最初から存在していないのかもしれない。

一方、目には見えなくても生命はいつもそこにあるのだ。何処にいるの知らぬまま戸を開けると野菊の香りが漂っている事に気づくだろう。匂いと言う物の姿は見えないが、花

は確かに存在する。色即是空、空即是色はこう言った命を指しているのではないか。

ユダヤ教徒のルームメイトによると、Tu BiShvat、ユダヤ植樹祭(しよくじゅさい)は晩春の五月ではなく、真冬の一月に行われる原因もそれと深く関係があると考えられる。それは、「草や木、自然万物は目に見えない所から始まる」という信仰があるからだそうだ。土に埋めて目には見えない、存在を目で確認することが出来なくとも、自然万物は確かに、確実に成長してゆく。「空即是色」、目で認識出来ないとはいえ、事象の存在を頑なに否定するのは不憫であろう。私にも同様な経験がある。私の祖父は九年ほど前にこの世から去ったけれど、私が生きている限り彼の存在を記憶から消すことはないだろう。実際、祖父のことを考える度、彼との思い出の数々がまるで走馬灯のように映し出されることがある。冬の桜は確かに花がなくて侘しく思うが、彼はその瞬間、垂れ枝の先々に燈した花明かりでも見えて、寒冬を忍んだ花の凄まじい生命力が目映ったのではないかと今はそう思える。

「人生とは、こんにちには始まり、さよならに終わる」と、かつて森敦が言った様に、一見途方もなく何十年も歩み続く私たちの行き先は案外シンプルで明快かもしれない。「色即是空、空即是色」の生き方、他人の口から伝わる「世界」の彩に惑わされず、目に見えない命の足跡を探すことを諦めず、物事の本質を見抜いて行くのも長き、短き人生の一興だと思わないか？我々の目にもいつか枯れた大木が愛おしく映し出される時がくると良いであろう。

ご清聴ありがとうございました。

## 第31回 大学部門 上級 第2位

Shengquan (Noah) Yin

### 地球寒冷化

こんにちは！みなさんは友達や家族とケンカをしたことがありますよね。私も小さい頃よくケンカした方で、いつも学校で隣の席の人とも、友達ともケンカしました。でもケンカをした後は、いつも「ごめんなさい」と言い合えば仲良くなったのを鮮明に覚えています。「ごめんなさい」という一言だけで、ケンカはもとより大きな争いごとをさけられるだけでなく、お互いの敵対心を緩和できるから、人の心を温めることもできます。

今、実生活では直接人が争っているのをあまり見かけなくなりました。ではどこでケンカしているのが見られますか？インターネットで起こっている争いをよく目にするようになったのではないのでしょうか。ネットで他の人と意見を交す際には、異なる思いや対立した考えが生まれがちです。だから不適切な言葉を慎まないと言語上の争いになって激しい炎上が見られるのです。例えば、トランプ大統領はツイッター上で世界組織から抜きたいという常識離れした言論で炎上トピックを作り出しています。また、法律の制限がある現実とくらべて、言論の自由が大きいネット環境では制裁に怯えず勝手に発言することができるということも炎上の一因としてあると思います。言いたいことをいって溜飲を下げようとする気持ちは、まるでたまっていたストレスを発散させるかのように人の感情も爆発させるのではないのでしょうか。

ネットの流行で生活が便利になっている一方で、私たちは争いを避けるようにお互いを遠ざけている気がします。ネットに影響される私たちの実生活では、なぜ人とのインタアクションが少なく、人の温もりを感じにくくなっているのでしょうか？

現在、私たちはいつもスマホを見ていることで、お互いの交流が少なくなったり、感情を抑えて自分らしく生きることができなかつたりしています。感情は私たちの生きる意欲の源であるはずですが、むしろテクノロジーに押し殺されていると私は思います。炎上のような



無意味な争いに影響されてしまっているからか、人間関係を結ぶためのつながりが一層希薄になっています。大学でも、学生が教室に入って席に着いたとたん、すぐにスマホを取り出してチェックしているのがよく見られますが、そのような光景は心が冷たくなります。地球温暖化どころか、人の心が「地球寒冷化」される状態になってしまうのです。地球の環境温度は右肩上がりが続いていますが、人間の感情温度はまるで氷点下です。生活に便利さを与えたテクノロジーの発達は、心の温もりや、共鳴をできなくさせています。

私は小さい頃、運動が好きでサッカーをしましたが、高校生の時に「フィフア 12」という爽快感を与えてくれるネットのサッカーゲームに夢中になってから、サッカーをしなくなってしまいました。インターネットが世界のすべてだという考えは、誰の思春期にもあった天真爛漫な思い込みでしょう。しかし、大人になって、その幻想から抜け出ることが、私たちが直面しなければならない現実なのです。ヒーターがついている温かい部屋で、ネットに囲まれている今より、フィールドで走ったり、サッカーボールを蹴ったりして泥で体を汚しても、自由を実感できていた少年期の心はもっと温かったです。

ネットでいくら感動させられる映画や本を見て、刺激させられるゲームをしたとしても、心を温めるのは、やはり、何気ない日常の中で生きている人間だけができることなのです。顔を見てケンカした後に直接言う「ごめんなさい」や、相手とボールを争ってフィールドを走る自由な感覚、スマホを置いてクラスメートに挨拶するような人間同士の活動こそが地球の心を温かくしてくれるのではないのでしょうか。

嘘の必要性

皆さんは嘘をついた時がありますか。多分、全ての皆さんがした事があると思います。私は実は「嘘つき」です。今までどれくらい嘘を付いたのか数(かぞ)えられないほどです。今、私どう見えますか。悪い人に見えますか。嘘という単語を辞書(じしょ)で調べると、「人をだますために言う、事実とは異(こと)なる言葉だ」と書いています。決して肯定的(こうてい)な意味ではないです。しかし、本当にそうでしょうか。2013 年、日本の番組で実施(じっし)した調査によると、日本は「嘘つきの国」として世界中で 4 位を記録しました。アジアの国の中では 1 位です。その理由は日本人の大体が、自分の本音を語(かた)ろうとしないし、相手の機嫌(きげん)を取るために、また、グループの平和(へいわ)のために嘘をよくつくためだと書いていました。しかし、そのせいか、それともそのおかげか、よく分からないですが、日本はとても礼儀正しい、親切な国、また、本音が分からない人達の国として讃(た)たえられています。それでは、うそは必要なのでしょうか？ 必要ないでしょうか？

私たちは小さい頃から本能的(ほんのうてき)に危険(きけん)から逃(のが)れるため、それとも親や先生に怒られないように、嘘をつく事があります。しかし、学校と家庭では、嘘についてはならないと教えています。私の母はその理由が、嘘が習慣(しゅうかん)になるからだと言いました。アジアの国では、「嘘は嘘を生む」と言う諺(ことわざ)があります。嘘を一つつくようになると、その嘘を隠(かく)すために、また、それに合う話を作り出すために別の嘘をつくようになるということです。この理由で嘘をテーマにしている童話(どうわ)が多いです。「嘘をつく子供」がその代表的(だいひょうてき)な例です。嘘をよくつく少年の言葉を隣人(りんじん)の住民(じゅうみん)たちがもう信じないようになって、少年が大きな災(わざ)わいに遭(あ)う事になるという話です。この話以外にも、童話(どうわ)の中の人物が嘘つくと必ず罰(ばつ)を受けます。それだけ、嘘はついていけない行動だと知られています。

しかし、私は「嘘」は良いのか悪いのかの問題から離(はな)れて考える必要があると思います。善良(ぜんりょう)な人でも嘘をついたことはあるはずです。それが自分のためか、他人のためかは分からないですが、自信を持って嘘をついたことが一度もないと言える人はいないと思います。なぜなら、今の社会には、嘘が必要な瞬間(しゅんかん)があまりにも多いからです。社会的な動物として他の人達とケンカしないで、よりよく生きるために嘘は必要だと思います。全ての人が嘘をつかないようになったら、この社会は大きなパニックに陥(おち)いるに違いないです。私も実は、小さい頃から嘘は悪いと学んでそうだと信じていました。しかし、考えが変わることになったきっかけがあります。10年前、私の祖父(そふ)は大腸癌(だいちょうがん)4期(き)だと判定(はんてい)を受けました。医者がもう2年以上生きていく可能性は10%、つまり亡くなる確率(かくりつ)が90%だと話しました。しかし、母と母の兄弟姉妹(きょうだいしまい)はその事実を隠(かく)して祖父に癌3期だと、生きる確率は半分以上あると嘘をつきました。祖父が絶望(ぜつぼう)を感じてほしくない気持ちで生まれた嘘でした。祖父はその言葉を信じて50%のために熱心(ねっしん)に努力(どりよく)しました。癌判定(がんはんてい)を受けてから10年目の今、完治(かんち)した祖父は今も非常に元気です。もしその時、事実を話したら、私の祖父はあきらめたかもしれません。しかし、嘘のおかげで祖父はさらに力を出しましたし、それがこのような肯定的な結果を生んだのです。

「嘘も方便(ほうべん)」という諺(ことわざ)があります。今の社会は、嘘は悪いと教えながら嘘をつかなければならない状況が多いです。確かに、嘘を習慣(じかん)のようにつくとか、他人(たにん)を苦しめるほどとか、もう信頼(しんらい)できないほど嘘をつくのは良くないと思います。しかし、嘘が肯定的(こうていてき)な結果(けっか)を生む瞬間も明らかにあるはずです。だから、「白い嘘」は人々がこの社会で他の人たちとよく生活するために作り出した心遣(こころづかい)の一部ではないでしょうか。ご静聴(しやうてい)ありがとうございます。

## 第 31 回 高校部門 初級 特別賞

Sherry Kung

### テクノロジーは人々の創造性を低下させます

こんにちは、みなさん、私の名前はシェリーです。 皆さんはスマートフォンがいますが。 そして、iPad もやっぱりいます。テクノロジーは私たちの生活の一部となっています。科学技術が人生を変えました。それは私たちの生活をより便利にしますが、創造性を失った。今日では、誰もが自分のスマートフォンを持っています。人々はいつでもどこでも彼らのスマートフォンで遊びます。皆さんに質問があります。ビデオゲームをしている時は何を考えていますか？あなたはまったく考えていない。

私が小さかった時、テクノロジーがあまり発展してなかったのも、子供はたくさん遊び方のアイデアがありました。暇な時、私たちは自分のゲームを作ってから遊んだ。おもしろかったです。または私たちは友達にいたするための創造性を持っていました (we had a lot of ideas when playing wt. our friends)。でも今、人々はそれほどクリエイティブティはありません。子供たちは考えていません。彼らはテクノロジーにたよりすぎます。インターネットで検索してから答えをコピーします。

テクノロジーは私たちの生活をらくにしていますが、それは私たちの創造性をより低めます。だから皆さん、スマートフォンを切ってください。暇な時、スクリーンを見ないでください、代わりにたくさんことができます。本を読むと、自分の脳は刺激されます、賢くなります。どうか、自分の創造性を殺さないようにしてください。ご静聴ありがとうございます。

心を輝かせよう

みんなが冗談で簡単に「鬱」という言葉をよく使っていませんか。私も簡単によく使っていました。私は二年生に入った時、一年生の生活に比べると随分忙しくなったので、すぐになれることができませんでした。その時、様々な症状が起こりました。常に原因不明で急に重苦しくなって、呼吸もギリギリで、何もできませんでした。ある日、シャワーをしていた時、突然十分間泣いてしまいました。人間関係が遠くなって、それに成績も下がってしまいました。そのままで3ヶ月を過ごしましたが、お陰様で、鬱病にならないうちに健康が戻ってきました。病気ではありませんでしたが、それにしても、その3ヶ月を思い出すと、真っ黒な深淵にいるようでした。それから、「メンタルヘルスは大事なことだ」と思い始めました。

ペースが速くてストレスも多い現代社会には、メンタルヘルスは一番重視すべきことです。世の中のおよそ五億の人が心の病に侵されています。その内の四分の三以上は鬱病の患者です。しかし、鬱病の病因は複雑なので、今はまだはっきり解明されていません。よく無視されているのは、鬱病は誰にとっても意外に身近なものです。私の友達も鬱病に悩まされていたので、毎日眠ったり食べたりすることさえなかなかできませんでした。しかも、彼は自分で自分を傷つけて、自殺しようとしたことさえあります。元々は積極的な人なのに、鬱病に苦しめられたせいで、副作用の強い薬を飲みながら生死の崖っ縁に立っていました。しかし、彼は他の鬱病の患者のように、他の人によく「ただ気分が悪いじゃない？」と誤解されてしまいました。実は、鬱病だけではなくて、様々な心の病は人々の生活に思うより大きな影響をもたらします。しかし残念ながら、そのような病気についての誤解も多いです。

鬱病の患者のうち、救助を求める人はせいぜい 25% だけです。それは、私の友達によると、最初は自分が鬱病に罹ったことが信じられなくて、「ただ一時的に落ち込んでいるか

ら、自分で乗り越えられる」と考えてしまうからだと思います。彼はそのまま何年か後、大学三年に入ってからとうとう病気の症状に抵抗できなくなって、遂にお医者さんに相談しました。お医者さんの指導で、今の彼はもう鬱病に勇敢に立ち向かえるようになって、段々快復してきています。鬱病の治療にとって、周りの人の支えも不可欠な部分だとわかりました。先に言った通りで、多くの人は鬱病について、「病気ではない」という誤解を持っているので、自分の友達や親しい人が鬱病に罹っている形跡に気がついても「病院に行ったら？」と勧めません。その代わりに、「もう泣くな！気分転換しろ！」とか、「そんなことにも耐えられないか？弱すぎる！」とか、そのような言葉ばかり言っています。多くの患者は、そのようなプレッシャーのせいで、治療を受けることを諦めます。

みなさん、鬱病は冗談で言うことではなくて、深刻な問題です。鬱病の患者は、ただ周りの人にそばにいて欲しいのです。私の友達は感情的な支えが欲しいと言っていて、普通の日常的な会話さえしてもらえば十分満足だったようです。彼には、自分を心配してくれる人がいると思うと、生きる希望がまだあります。自分の病気のことは他の人にはわからないので、勝手なことを言われると、逆に嫌になります。みなさんは、鬱病になった友達がいたら、自分の力で、できる限り助けてあげてください。自分にとっては日常会話などは簡単なことだと思うかもしれませんが、患者にとっては生きる希望なのです。

ご静聴ありがとうございます。